

Title	医療における「効率」と「非営利」の価値規範
Sub Title	
Author	阿部信子(Abe, Nobuko) 田中滋
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第808号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0808

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	阿部 信子	主査	田中 滋
		副査	伏見多美雄
			池上 直己
所属	田中 滋 研究室		

医療における「効率」と「非営利」の価値規範

医療は医学の社会的適用であると言われる。医療はそれが属する社会の制度や価値観を抜きにしては考えられない。

1980年代を通じて、日本の保健医療体系の内部に大きな揺らぎが生じている。そしてこの揺動は今後さらに加速され顕在化していくと予想される。こうした環境変化への適応を余儀なくされている医療機関にとって、将来にわたり安定的に医療サービスを再生産し存続していくためには、患者ニーズを中心にとらえたマーケティング、ヒューマン・リソース・マネジメント、ME機器等資本設備の維持、資金管理など統合的な経営管理により経営の「効率」を高める視点が必要である。

医療機関にとって「効率」の重みが増すとは言え、医療には常に「非営利」の規範が存在する。昨今、企業経営においては「効率」主義への批判が高まりつつあるが医療においては「非営利」が強調されるあまり、「効率」に対する十分な理解が得られていないようである。

本論文は、医療における「効率」と「非営利」の理論的枠組を明らかにし、さらに、医療法に規定される「非営利性」のシステムが、現実の医療機関経営にどのような影響を及ぼしているかについて、実証的な分析を行うものである。